

広報

ひらな

1

平成26年/2014



よいしょ、よいしょ！
元気な声で新年の準備

- ◆ 年頭のご挨拶 …… 2～3ページ
- ◆ 平内町褒賞授与式 …… 4ページ
- ◆ 生涯学習情報 …… 6～7ページ
- ◆ 保健福祉だより …… 8～10ページ
- ◆ 今月のお知らせ …… 13～15ページ

◆ 保育園児もちつき体験(食育体験学習) ◆



平内町長
船橋
茂久

行政



年頭にあたって

明けましておめでとうございます。

平成26年の年頭に当たり、町民皆様の御健勝と御繁栄を心よりお祝い申し上げます。

私が、町長に就任したのが平成23年11月、早くも2年が経過し今任期も折り返し点を越えました。この間、町民の皆様には町政運営に対し温かい御理解と御協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国内外ともに自然災害の多い年でありました。特に、台風26号の通過による伊豆大島での記録的な豪雨による土砂災害など、台風、集中豪雨、竜巻被害など日本全国、枚挙にいとまがありません。幸い当町には被害は及びませんでした。被災した地域、方々には心よりお見舞い申し上げます。

町政については、引き続き厳しい財政状況ではありますが、(仮称)藤沢団地建設事業の着工、継続事業であります小湊、清水川・口広地区の下水道工事などを実施。更には高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種事業や赤ちゃんの先天性風しん症候群発症の予防対策として、成人の風しん予防接種事業など他町村に先駆けて実施して参りました。また、長年の懸案でありました、青森鉄道小湊駅のトイレ改修についても関係機関の御協力により水洗化が実現し、利用者からは好評を得ております。今後とも町民の福祉増進に向けた取り組みに力を注いで参りたいと考えております。

基幹産業である漁業、とくにホタテ養殖漁業については、昨年は養殖籠への付着物が異常に多く、悪臭の原因となっており、今後は青森県ホタテガイ養殖残渣協議会を中心に残渣の量を減らす工夫と新たな処理方法を検討していく予定であります。また、昨年は平成22年の異常高水温に匹敵す

る高水温によりホタテガイ生育への影響が懸念されましたが、一部海域でのへい死は見られたものの、大規模なへい死は発生せず、稚貝の必要数量をほぼ確保できる見通しであります。なお、水揚げ高は、ホタテで約35億5千万円、ナマコを含めると約48億4千万円となり、計画を下回る見通しとなっております。

このように依然としてホタテ養殖漁業をめぐる情勢は厳しく、生産者の経営安定に繋げるために、健苗育成、ホタテ貝適正養殖可能数量制度(タスク)、残渣対策等、引き続き生産者、漁協一体となつて取り組んで参りたいと考えております。

一方、農業では、春先からの低温や天候不順の影響で農作業が大幅にずれ込みましたが、その後の天候に恵まれ、特に出穂期以降も高温で推移したことから、登熟も進み、青森地帯の作況指数も106の「良」となりました。しかしながら、8月から9月にかけての猛暑で、当町全域で斑点米カメムシ類の被害等による落等などで、基幹品種である「まっしぐら」の一等米比率は77.0%にとどまったものの、町全体としては、平年作以上を確保することができました。今後も、航空防除や適期刈取りの適切な対応で、より一層の品質向上を図るべく関係機関と一体となって良質米の生産に取り組んで参りたいと考えております。

安倍政権発足1年を経過し、都市部においてはアベノミクス効果により景気回復基調にあるとは言うものの、我々、地方には未だ実感できない状況にあります。真に国民のため、地方の活性化のために御尽力をお願いするものであります。

今年も一層厳しい財政状況の中で課題は山積しておりますが、地場産業の更なる発展を基に町民生活の安定と福祉の向上を図るべく創意工夫を重ね、町民皆様の期待に応えるよう努力して参ります。

新しい年が町民皆様、また平内町にとりましても良き年でありますようお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。



平内町議会議長
佐々木徳正

議 会

新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新年を、御家族お揃いで健やかに迎えのことで、議員一同心より喜び申し上げます。また、町議会に対しまして日頃より深い御理解と御協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明け早々に衆議院議員小選挙区の区割り改定について国の審議会が示した基準人口を下回っている青森県2区について、県が2区への編入対象として平内町か、五戸町が有力であるとの見解が示されました。その後の県への編入反対の意見書提出や関係機関への要請活動の結果、これまでどおり青森県1区となりました。

また、近年の異常気象は昨年も例外ではなく、国内外において、集中豪雨、竜巻、台風被害が後を絶たず、多くの被害をもたらしました。幸いにも当町では、直接的被害を与える大きな災害・事故はなかったものの、被害にあわれた方々には心からお見舞いを申し上げるものであります。

さて、当町の各事業は、(仮称)藤沢団地建設工事が今年度着工し、4棟8戸が今年度中に完成の予定となっております。さらに、小湊、清水川・口広地区の生活環境改善と陸奥湾の水質保全のために下水道工事を継続して実施しており、道路幅員が狭い内童子・外童子間の道路改良工事も計画どおり順調に推移しております。

また、狭隘かつ急カーブの続く県道夏泊公園線の拡幅工事も順調に進んでおり、今後の夏泊半島の活性化に大きく貢献できるものと考えております。

また、町の基幹産業である水稲については、春先の低温が影響し農作業が遅れたものの、概ね天候に恵まれ、特に出穂期以降は気温が平年を上回って経過したことから登熟は良好に推移し、青森地帯の作況指数

は106の「良」となりました。しかし、8月から9月にかけての猛暑によるカメムシ被害等により、基幹品種の「まっしぐら」で、一等米比率が77%にとどまったものの全体では平年作以上を確保しました。

一方のホタテ養殖業においては、水揚げ高がホタテで35億5千万円、ナマコを含めて48億4千万円と計画を下回る予想となっております。しかしながら、平成22年の高水温被害を彷彿させる高水温にもかかわらず大規模なへい死に至らず、養殖の基本である稚貝採取も必要数量を確保できる見通しとなっております。一方、去年は養殖残渣が異常に多く、他市町村では処理に困った漁業者が不法投棄し海上保安部に摘発されるという事件が相次ぎました。今後は残渣の減量や処理方法に関する対策が急がれます。

町議会としては、基幹産業を守り育て、経営安定に努めるために、関係団体・生産者の取り組みに対し、町と一体となり支援していきたいと考えております。

当町における財政見通しについては、アベノミクス効果で都市部は景気回復の兆しが見えるというものの、地方では依然として景気回復の遅れ、雇用情勢悪化の状態が継続していることから引き続き厳しい状況が予想されます。今後とも町政を取り巻く環境は厳しいものがありますが、「みんなで創ろう ひらないまち～協働のまちづくり～第5次平内町長期振興計画」の実現に向け、行財政改革と行政運営の効率化を図り、町民が安心して暮らせる町づくりのためにも、町民の皆様のお意見が町政に反映されるよう自己研鑽に努め、町民の福祉向上のために議員一同邁進して参る所存でありますので、相変わらざる御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

新しい年を迎え、平内町の限りない発展と町民の御健勝と御多幸を議員一同心から御祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

平成25年度平内町褒賞授与式



去る11月26日に平内町褒賞授与式が山村開発センターにおいて執り行われました。

この褒賞は、町の政治、経済、社会、その他各般にわたって顕著な功績をあげられた方々を永く顕彰するために行われる町の権威ある表彰で、昨年度までに235名、7団体が受賞されております。

式では、船橋町長から褒状が手渡され、受賞者を代表して後藤巧氏より「時勢の赴くままに、それぞれの職務と任務を遂行してきたにすぎなかったわけで、諸先輩方の懇切な指導と鞭撻の賜と深く感謝しております。」と謝辞がありました。



○漁業振興功労者

後藤 巧氏(71歳)

長年にわたり青森県水産業改良普及会長等の要職を歴任し、豊富な識見と卓越した手腕を発揮し漁場の有効利用と後継者の指導育成に努力するなど、当町並びにむつ湾の漁業の発展に尽力されました。



○民生功労者

宿野部 弘子氏(70歳)

長年にわたり平内町民生委員・児童委員として活躍、社会奉仕の精神を発揮し、低所得者等の自立更生や子どもの健全な環境づくりに取り組むなど、旺盛な責任感を持って町民の福祉向上に尽力されました。



○文化功労者

八戸 久美子氏(78歳)

長年にわたり石川流二代目石川久美子社中の会主として活躍、卓越した指導力を発揮し、内閣総理大臣賞等多くの栄誉に導き、後継者の指導育成に努め多くの名人を輩出するなど、町芸術文化の向上発展に貢献されました。

「よいしょ」のかけ声が響く 町内各所で餅つき行事

例年より多めの初雪が降り、迫りくる冬の訪れを痛感した11月中旬から12月にかけて、町内各所で餅つき行事が開催され、会場は子どもたちの歓声に溢れました。

11月25日(月)には、JA青森と同女性部平内支部(田中裕子会長)の主催による食育体験学習会が開催され、町内から集まった保育園児ら約80名がよいしょ、よいしょのかけ声で餅をつき、できあがった餅にあんこをからめ、みんなでおいしくいただきました。

地元の農産物に親しんでもらおうと開催されたこの学習会は今年で2度目。リンゴやお米、牛乳など、青森県にはいろいろなおいしい農産物があることを勉強した後、平内産のもち米で餅つきとなりました。

続いて、ペットボトルを使ったバター作り体験が行われ、園児らは県産牛乳と生クリームを入れたペットボトルを満面の笑みで振り続けました。数分後、乳清と分離したバターができ始めると、会場のあちこちか

ら歓声が上がリ、できあがったバターをクラッカーにつけて試食しました。普段飲んでいる牛乳からバターができあがったことに加え、そのおいしさにもびっくり。園児らはみな満足そうな顔で帰路につきました。





歌留多、餅つき、スポーツ。 元気いっぱいお腹もいっぱい！

山口小学校(沼田礼一校長)では11月16日(土)、「PTA餅つき会&スポーツ大会」を開催し、歌留多や餅つき、スポーツを通して親子の絆を深めました。

餅つきに先立って行われたのは、町の風景、人物を題材にした『ふるさと歌留多ひらない物語』を使った歌留多大会。読み札が一枚読み上げられるごとに歓声が上がリ、体育館の至る所で熱戦が繰り広げられました。

その後、保護者らの指導で餅つきをし、おしるこや雑煮を食べてお腹がいっぱいになった後は、大人と子どもに分かれてソフトバレーやフットサル(室内サッカー)を楽しみ、大満足の日となりました。

稲から自分たちで育てたお米 もちつき集会で収穫を祝う

田植えから稲刈りまでを行う農業体験の締めくくりとして11月27日(水)、小湊小学校(荒内清蔵校長)で「もちつき集会」が行われ、児童らが自分たちで育てたもち米を雑煮にし、おいしくいただきました。

集会では、餅つきに先がけ5年生の児童らが、米作りを通して学んだ内容をクイズ形式にし、昔の米作りや歴史、米の種類や生産地などを楽しく全校児童に紹介しました。発表した児童からは「たくさんの方が昔からの知恵をふりしぼって作り上げてきた米作りの伝統を大切にしたい」と感想があり、普段、何気なく食べていた食事への関心の高まりが感じられました。



保育園児からお年寄りまで交流 東小学校「ふるさと交流会」

12月16日(月)、東小学校(小笠原千景校長)で「ふるさと交流会」が開催され、近隣の保育園児から地域のお年寄りまで大勢が小学校を訪れ、手踊りや昔の遊び、餅つきなどで交流を深めました。

交流会ではまず、児童によるじょんから発表があり、その後地域の方々も交えて踊りました。

続いて、おはじきやけん玉、あやとりなどの昔の遊びやクリスマスリースやマスコットなどのものづくりを通して、世代を超えた交流をしました。児童は地域の方から遊び方を教えてもらおうと、今度は先生となって保育園児に教えるなど、活発な交流が見られました。



若いお母さんに「あいどり」を伝授 児童館でもちつき会開催

12月1日(日)には、ひらない中央児童館でもちつき会が開催され、幼児・児童約30人と保護者や母親クラブ、地域の方々約20人が餅つきを楽しみました。

できあがった餅は、おしるこや雑煮、きなこ餅と様々な食べ方が楽しめ、子どもたちはおなか一杯になるまで自分たちでついた餅を満喫しました。

この日は「大ベテラン」のお母さん方がお手伝いとして参加くださり、若いお母さん方に「あいどり」を伝授してくださいました。近年は臼と杵で餅をつく習慣も薄れつつあり、今回のもちつき会が伝統を受け継ぐよい機会になったのではないのでしょうか。



『ふるさと歌留多ひらない物語』好評販売中！

ご用命は役場総務課までお問い合わせください(Tel 7 5 5 - 2 1 1 1)



生涯学習情報

平内町教育委員会
TEL 7 5 5 - 2 5 6 5

町民ひとり1学習・1スポーツ・1ボランティアを实践しよう

町の防災計画について学ぶ

ひらないカレッジ ～いきいきコース～

11月20日(水)、町立山村開発センターにおいて、役場総務課防災対策室職員による「平内町の地域防災計画」についての講座を開催しました。

平成23年3月に発生した東日本大震災をきっかけに、被災地だけでなく全国各地において安心・安全な地域づくり、社会づくりに向けた取り組みが見直されています。今回の講座は、当町において、現在の防災計画はどのようになっているのか、今後我々はどのような町の支援体制のもと、どう行動すればよいのかの説明となりました。

○情報入手

現在では、携帯電話の「緊急速報メール」により、情報を入手できるしくみになっている。また、各町内への防災無線による情報発信も停電時でも対応できるしくみである。

○避難行動

避難箇所(建物に限らない)に避難となるが、まずは自分の身は自分で守る(自助)ために自身が動きだし、地域や近隣の人が互いに協力し合う(共助)ことが大事である。行政や消防機関の支援(公助)は、建物の倒壊等により道路を塞がれてしまい、支援作業が遅れる可能性もあるので、「自主防災組織」の設立が大事となる。

○避難生活

現在、避難箇所には保存食、保存水、毛布、発電機等を備蓄している。また、避難箇所と役場との情報収集伝達も無線によりできるしくみとなっている。

受講生からは、「避難場所を再確認したい」「ハザードマップをなくしてしまったので役場にもらいにきたい」「自主防災組織の必要性がわかった」などの感想がありました。



餌付けの可否について討論

～ハクチョウのまちシンポジウム開催～

ハクチョウへの餌やり自粛が続き、多くの方に心配をおかけしている中、12月1日(日)、浅所コミュニティセンターにて“餌付けの可否と鳥インフルエンザ”をテーマに「ハクチョウのまちシンポジウム」を開催し、ハクチョウの生態や保護、観光等に携わる方々をお招きして討論していただきました。

討論会に先立ち、当町と同様に「鹿児島県のツルおよびその渡来地」として特別天然記念物に指定を受けている鹿児島県出水市のツル博物館の楠元館長に、「ツルと人との共生をめざして」と題して講演をいただきました。野鳥への給餌と鳥害について、鳥インフルエンザへの対応など、『共生する』という立場からの積極的な事例が多く、とても参考になる内容でした。



続く討論会では、餌やりの自粛を受け、県内でも餌やりに依存していた飛来地で特に個体数が減少傾向にあることから、「可能であれば再開したい。町の活性化にもつながるはず」、「ペット状態の給餌はよくない。手助けとなる環境を整える方法を考えるべき」、「日中、餌を求めて周辺の水田へ向かうことから、水田の管理を町ですべきである」など、ハクチョウのまち再生に向けて、活発な討論が行われました。

特に、進行役を務めたハクチョウのまち再生事業実行委員会会長の幸丸政明先生は、「ハクチョウだけでなく、平内は『その飛来地』として特別天然記念物に指定されているので、その環境を大事にしてほしい」と述べ、さらに旧浅所小が続けてきた調査の蓄積を貴重なものとし、保存活用を求めたうえで、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護するラムサール条約の登録にも値するとして、ハクチョウを含めた積極的な環境保護の必要性を訴えました。

当日参加した近隣の住民約40名から回収したアンケートからは、ハクチョウを呼び戻そうという積極的な意見が多くみられました。ハクチョウのまち再生事業実行委員会では、今後も議論を深め、渡来地の環境と美しい景観を後世に守り伝えるための取り組みを行っていきます。

『青森が生んだ最大の英語人』 佐々木多門講演会を開催しました

11月10日(日)、青森市において、蟹田中学校教諭で佐々木多門研究家の佐々木紀人氏を講師に迎え、講演会「ふるさとの偉人に学ぶ～佐々木多門」を開催し、明治から昭和にかけて活躍した当町出身の佐々木多門の生涯と業績を紹介しました。



講師の佐々木氏は多門を「経済学者としてだけではなく、教育者や執筆家などの多彩な面をもつことができたのは、英語力に長けているからこそである」、また、イギリス名門新聞社「The Times」で、日本人として初めての東京通信員として活躍したことについて、「世界の経済界に、堂々とした英語で当時の日本を紹介した人は他にはいない」と多門の業績を熱く語りました。

また、講演会では、当町出身で日産自動車(株)元副社長である楠美憲章氏が「青森・日本・世界をつなぐもの わたしの歩んだ道から」と題し、楠美氏が多門同様に世界と戦った産業界の業績について特別講演をしてくださいました。

会場には300人近くの参加者が集い、「平内の出身者として誇りに思う」、「平内の子どもたちにも聞かせたい」、「英語が好きなのでさらに能力を向上させたい」などの感想をいただきました。

『終活』は元気うちに！ ひらないカレッジ ～いきいきコース～

11月6日(水)、町立山村開発センターに青森友の会の方々3名をお招きし、今年度で3回目となる「暮らしの知恵袋」講座を開催しました。

今回のテーマは、「ゴールはすっきり」です。人生の“最終章”を迎えるにあたっての過ごし方(身辺整理)や亡くなった後のことを生前のうちに決めておく(覚え書きノート)などの「終活」について、今からすべき様々な取り組みの話をしてくれました。

青森友の会の調査によると、身辺整理に取り組んでいる方は年を重ねるほど多くなるようですが、講師の方いわく、「やはり体を自由に動かせる健康で元気うちに、取り組むことが大事であり、何かと忙しい毎日でしょうが、計画的に時間をつくり、コツコツと臨んでいきましょう。」と話をしてくれました。

また、保険証や貯金通帳はどこ？担当医は？交友関係はどのような方々がいる？など、本人がいなくても身内の人がわかるような「覚え書きノート」を準備し、いざというときのために備えておくことも大切なことであると話をしてくれました。



町立図書館 紹介コーナーその168

◆一般書◆

- | | |
|--------------|-------|
| ①黒書院の六兵衛 上・下 | 浅田次郎 |
| ②独走 | 堂場瞬一 |
| ③限界捜査 | 安東能明 |
| ④まぼろ駅前狂騒曲 | 三浦しをん |
| ⑤貴族探偵対女探偵 | 麻耶雄高 |
| ⑥探偵部への挑戦状 | 東川篤哉 |
| ⑦潮鳴り | 葉室麟 |
| ⑧気骨稜々なり | 火坂雅志 |
| ⑨幽霊が隣で聞いている | 蒼井上鷹 |
| ⑩佐々木多門伝 | |

～世界と戦った風雪の英語人～ 佐々木 紀 人

○1月の休館日 12日・13日・26日
年始は1月6日から開館します

生涯学習カレンダー 1月

5日(日)	◆平内町消防団出初式
9日(木)	◆心配ごと相談日(10:00～15:00)
15日(水)	◆管内小・中学校 3学期始業式
19日(日)	◆家庭の日
23日(木)	◆心配ごと相談日(10:00～15:00)
25日(土)	◆第7回平内町伝統芸能発表会

このカレンダーは、その月の主な行事と「生涯学習カレンダー」に記載されている事業に変更があったものを記載していますので「生涯学習カレンダー」と照合してご活用ください。

hiranai
保健福祉だより

健康づくり～歩くことから始めよう～

身体活動を活発にして、 内臓脂肪を減らしましょう

動脈硬化を進行させ、放っておくと脳卒中や心臓病など命に関わる疾患へとつながるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)。その根本にして最大の原因は内臓脂肪の蓄積です。なぜ内臓脂肪がたまってしまうのか？主な原因は「運動不足」と「食べすぎ」にあります。食事から摂取するエネルギーより、基礎代謝(*)や運動などの身体活動で消費するエネルギーが少ないと、あまったエネルギーが内臓脂肪や皮下脂肪となって蓄積されてしまいます。内臓脂肪を減らすには、まず運動を中心に身体活動を増やすことが大切です。しかも内臓脂肪は皮下脂肪と比べてたまりやすい一方、生活習慣の改善により減りやすいという特徴があります。身体活動を活発にして消費エネルギーを増やせば、内臓脂肪は確実に減らすことができます。

(※)基礎代謝とは寝ているときなど何もしない状態でも生命維持のために消費するエネルギーのことで、年齢とともに減少していく傾向にあります。

無理は禁物です！

- ◆自分のペースで
まず初めは無理せずに軽い運動からはじめましょう。
- ◆水分補給を忘れずに
こまめに水分を補給しましょう。

1日1万歩を目標に！

身体活動を増やすには、日常生活の中で歩数を増やすことが最も簡単で有効な方法です。

1日1万歩、毎日歩くようにすると生活習慣病の予防に効果的であることがわかっています。

しかし実際は、例えば40歳代の男性は1日平均7,934歩・40歳代の女性は平均7,479歩しか歩いていません。下記のポイントを押さえ、1日1万歩を目標に歩数を増やしていきましょう！

◆日常生活で歩数を増やすポイント◆

- ①10分歩くと約1,000歩になります。歩数を時間で覚えましょう。
- ②時間は連続しなくても大丈夫です。こまめに歩いて歩数を増やしましょう。
- ③駅までは何歩・バス停までは何歩・役場までは何歩など、歩数を生活の行動パターンとして体で覚えましょう。
※冬の期間は、転倒に気を付けてください。家の中でのウォーキングでも大丈夫ですので、是非、歩数を増やすよう努力してください。
- ④休日はショッピングに出かける、史跡をめぐるなど、ウォーキングに目的をつけましょう。

ウォーキングの全身効果

- 肥満を防ぐ
- 脳を活性化する
- 足腰を強化し、心肺機能が向上する
- 糖尿病や骨粗しょう症を防ぐ
- ストレス解消
- 美肌を保つ

※病気のある方は主治医に相談してから始めましょう。



7月に開催されたブルーロードウォーク。絶景の中を歩くと自然と笑顔がこぼれます。

ウォーキング利用の皆さんへ 冬期間、体育館を開放します

冬期間のウォーキングは、雪道のための転倒や交通事故など、危険性が非常に高くなります。

平内町教育委員会では、ウォーキング愛好家の皆さんのために、町立体育館を開放いたしますのでご利用ください。なお、ご利用にあたっては、下記の注意事項をお守りください。

- 1、必ず上履きを用意してくださるようお願いいたします。
- 2、照明はありませんので、ご了承ください。
- 3、体育館が使用されている場合は、2階の観覧席等の使用が基本となりますが、使用されている方々から了承を得てください。
- 4、体育館の休館日(第1・第3日曜日、祝日)は使用できません。利用時間は厳守してください。
- 5、スポーツ安全保険の加入をおすすめします。
- 6、ご利用は、個人の責任となります。教育委員会ではいかなる場合も責任を負いませんのでご了承ください。
- 7、体育館の玄関が施錠されている場合は、隣の開発センター事務室へお申し出ください。
- 8、使用料は無料です。

詳細はお問い合わせください。

開放期間・時間

平成26年3月31日(月)まで 8:30～16:30

問 教育委員会 生涯学習課 担当：蝦名

TEL 7 5 5 - 2 5 6 5 (内361)

予防接種費用を助成しています

○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種

平内町に住所を有する満70歳以上の高齢者を対象に、町内の医療機関において接種した場合、肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成を行っております。

助成額は一人当たり4,000円、生活保護受給者については全額助成いたします。

高齢者の肺炎による死亡率は、平内町での死亡原因の第3位となっており、また肺炎でもっとも多い原因が肺炎球菌となっています。

1回の接種で5年間の予防効果が期待できるといわれておりますので、まだ接種されていない方は、お早めに接種することをお勧めします。

また、施設入所等でやむを得ず町外の医療機関で接種された方にも助成しております。

○成人の風しん予防接種

平内町に住所を有する方で、妊娠を希望している女性とその夫(パートナー)、又は妊娠している女性の夫(パートナー)を対象に、風しんの予防接種費用の助成を行っております(自己負担なし)。

実施医療機関は、町内の平内中央病院・ひきち内科クリニック・たざわクリニックです。

これまで、風しんワクチンの接種制度が頻繁に変化しており、接種が行われなかった児童や接種率が低い世代があります。生年月日別に接種状況が異なりますので、接種歴等の詳細については、お問い合わせください。

問 役場 保健福祉課 保健係
TEL 7 5 5 - 2 1 1 4(内141)

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

保険料は忘れずに納付しましょう

国民年金保険料は日本年金機構からお送りする納付案内書等により、毎月の保険料を翌月の末日までに納めていただくことになっています。

保険料の納め忘れがあると、将来受け取る老齢基礎年金の額が少なくなったり、場合によっては年金が受けられなくなることがあります。また、万一のときに障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなることがあります。

口座振替をご利用ください

そこで、便利で安心な口座振替のご利用をお勧めします。口座振替にしておくと、毎月、納めに行く時間と手間がかからず便利で安心です。

また、口座振替のなかには割引のあるお得な振替方法(早割・一年前納・半年前納)もあります。

※申込期限は、一年前納及び半年前納(上期4月～9月分)が2月末、半年前納(下期10月～翌年3月分)が8月末までです。

お申し込み方法は、口座振替申出書に必要事項を記入・押印(金融機関の届出印)してお近くの年金事務所にお申し込みされるか、ご郵送ください。また、金融機関窓口にご提出いただいても結構です。口座振替申出書は役場 年金担当窓口又は青森年金事務所にご提出してあります。

問 役場 保健福祉課 年金後期医療係
TEL 7 5 5 - 2 1 1 4(内線133)
青森年金事務所
TEL 7 3 4 - 7 4 9 5

民生・児童委員、主任児童委員 45名の方が委嘱されました

よろしく願いいたします！

平成25年12月1日をもって『平内町民生委員・児童委員、主任児童委員』45名が厚生労働大臣から3年の任期で委嘱されました。

委員はそれぞれの担当地区において、経済的または社会的、精神的に困った状況にある、悩みや問題を抱えた方々に対して、その問題解決に向けた支援活動を行います。

今回は新任が5人、再任が40人の合わせて45人が選任されました。

また、今回退任された委員は、本町・下町担当の清水恵子様(12年)、第1元町担当の篠村麗子様(21年)、浜子担当の工藤フサ子様(12年)、福島・福館・平川担当の熊谷市子様(24年)、清水川・一本松担当の田中みわ様(21年)の5名の方々です。民生委員・児童委員として長い間ありがとうございました。

※()内は勤続年数

担当地区	氏名	担当地区	氏名
1・2内童子	佐々木 直子	福島、福館、平川	辻村 敬五
1 平中	船橋 シズ子	外童子、大和山	太田 照則
新生町	佐々木 照美	松野木、薬師野	八戸 和子
2 平中	福田 秀昭	一本松、清水川	加藤 愛子
赤坂台	佐々木 ゆり子	1 小林	船橋 千セ
本町、下町	伊瀬谷 栄子	2・3小林	横嶋 和則
寺町	倉本 ムツ子	1口広、口広開拓	江戸 茂
1 元町	大水 美代子	2 口広	江戸 栄子
2元町、川原町	畑井 英世	折戸、狩場沢	熊谷 優
1 勝田町	佐々木 祐子	助白井、陸奥ヶ浦	大森 梅子
2 勝田町	成田 弘子	藤沢・2藤沢	逢坂 ゆみ江
緑町	三津谷 志津子	山口	須藤 つゑ子
東沼館、夜越山	石田 康男	小豆沢	今 貞紀
西沼館	船橋 睦子	中野・上中野・板橋	須藤 諭
浜子	船橋 武成	土屋	逢坂 徳克
東和	飯田 サツ	浪打	山崎 せき子
浅所	宿野部 初男	茂浦	佐々木 一義
間木	宿野部 弘子	浦田	豊島 市太郎
東滝	細川 絹子	稲生	佐々木 道義
上・中田沢	加藤 梅子		
野内畑、下田沢	福田 香代子	主任児童委員	亀田 令子
白砂	柴田 武信	主任児童委員	岡本 みどり
盛田	荒内 テイ子	主任児童委員	高橋 姫子

「保育所新規・継続入所」 申込受付のお知らせ

平成26年度保育所新規・継続入所する児童を次の日程で受付いたします。

なお、ご都合により次の指定された受付日に申込みができない方は、受付期間中、随時受付いたします。

◎受付期間及び場所

【期間】平成26年1月20日(月)～1月24日(金)

【時間】午前8時15分～午後5時

【場所】平内町役場 1階 保健福祉課福祉係

保育所名	所在地	定員	受付月日
山彦保育園	山口	30人	1月20日(月)
東和保育園	東和	60人	
小湊保育園	本町	45人	1月21日(火)
口広保育園	口広	60人	
平内中央保育園分園	東田沢	20人	1月22日(水)
平内中央保育園	勝田町	60人	
青空保育園	清水川	40人	1月23日(木)
緑が丘保育園	藤沢	45人	
双子へき地保育所	浦田	30人	1月24日(金)

◎保育所に入所できる基準

町内に住民登録している家庭で、下記の①～⑥までのいずれかの事情にある場合、保育所に入所できます。

ただし、その家庭において、保育できる方がいる場合は入所できません。

- ①保護者が昼間、家庭の外で仕事をしている場合。
- ②保護者が昼間家庭内で児童と離れて仕事(自営業・内職等)をするため、児童の保育ができない場合。
- ③母親が妊娠中であるか出産後間もない場合。
- ④保護者が病気、心身障害などにより、児童の保育ができない場合。
- ⑤保護者が病人や心身障害の方を常時介護している場合。
- ⑥火災や風水害、地震などの災害のため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

※求職中でお申込みの方は、保育の開始日から6カ月以内に就労証明書等の提出がない場合は、引き続き入所できない場合があります。

◎入所申込みに必要な書類

- ①保育所入所申込書(新規の方)又は継続児童状況確認書(継続の方)
- ②児童の扶養義務者(父・母)の平成25年分源泉徴収票(コピー可)又は平成25年分確定申告書の控(コピー可)
※平成25年1月2日以降当町に転入された方は、前住所地の発行する平成25年度住民税課税証明書も提出してください。

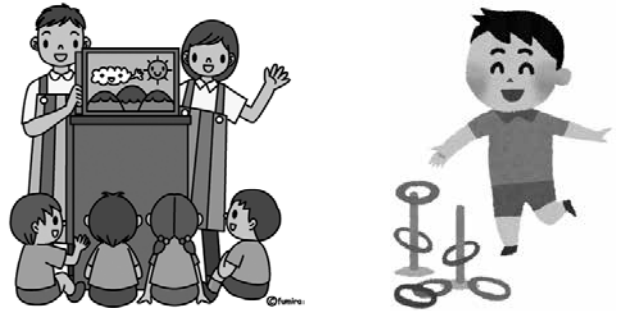
- ③就労証明書
- ④診断書(病気及び看護の場合)、母子健康手帳(出産予定の方)
- ⑤印鑑

※①、③の書類は、保健福祉課福祉係及び各保育所に備え付けてあります。

問 役場 保健福祉課 福祉係
Tel 7 5 5 - 2 1 1 4 (内線142)

☆ 子育て支援センター ☆ 1月の行事予定

日 程	活動・場所	内 容
1月9日(木) 9:45～11:15	びよびよ絵本サークル 支援センター	絵本や紙芝居などの読み聞かせを行います
1月17日(金) 9:45～11:15	親子ふれあいワーク 支援センター	輪投げをして遊びましょう
1月28日(火) 9:45～11:15	すくすくクラブ 支援センター	・身体測定 ・節分の製作をします



問 平内町地域子育て支援センター
Tel 7 5 8 - 1 2 1 4

鳥インフルエンザにご注意ください

◆ 屋外で鶏など鳥類を飼っている方へ ◆

高病原性鳥インフルエンザについては、国内では平成23年3月の千葉県での発生を最後にその後発生は無く、平成23年6月には国際的にも鳥インフルエンザ清浄国に復帰しました。しかしながら今年10月にはベトナムで本病の発生が確認されるなど、近隣のアジア諸国では本病の発生が継続しています。

高病原性鳥インフルエンザウイルスは大陸からの渡り鳥によって持ち込まれると考えられています。これから渡り鳥が飛来する季節を迎え、鶏と野鳥(スズメ等)との接触を避けるため次のことに注意してください。

- 1 放し飼いにしないこと。
- 2 鳥小屋・運動場は防鳥ネット(網目の大きさが2cm以下のもの)で囲い、ネズミ等が入らないよう穴は補修して塞いでおく。
- 3 清潔な環境で飼育し、小屋の周囲を消石灰等で定期的に消毒する。
- 4 鶏の世話をするときは、専用の長靴を用い、よく消毒する。

次の症状を確認した時は、家畜保健衛生所へご連絡ください。

- ・とさかの色が黒くなる・顔が腫れる・下痢
- ・卵を産まなくなる・神経症状(沈うつ等)
- ・急死 等

問 東青地域農政局地域農林水産部
青森家畜保健衛生所

Tel 7 6 4 - 1 7 4 4

(夜間・休日)

0 9 0 - 2 2 7 4 - 0 4 7 4

平内中央病院からのお知らせ

今年も笑顔であふれました ～クリスマスコンサート～

12月10日(火)、今年も当院リハビリ室で未来創造ひら
ない塾(船橋正彦塾長)主催のクリスマスコンサートが開
催されました。



オープニングは琴好会による大正琴の演奏。おそろ
いのサンタの衣装に身を包んだメンバーが「君恋し」
や「古城」など、情緒あふれる音色を奏でました。

続くどんぐりコーラスの皆さんは定番クリスマスソ
ングを披露し、当日詰めかけた入院患者やご家族、介
助ボランティアの皆さんなど約50人は手拍子で応え、
一足早くクリスマスの気分を楽しみました。

ご協力いただいたボランティアの皆さん、ありがと
うございました。



常勤医を随時募集中!

平内中央病院では、常勤の医師(定年退職された方も
大歓迎です!)を随時募集しておりますので、勤務を希
望される方はお問い合わせください。また、知人やご
友人に医師の方がおりましたら、平内中央病院で医師
を募集していることなどを、お知らせして下さるよ
うお願いいたします。

問 平内中央病院 庶務係
TEL 7 5 5 - 2 1 3 1

平内町職員募集受付中!

1. 職種及び採用人員

- ・看護師・准看護師(町職員) 若干名
- ・理学療法士(町職員) 若干名
- ・作業療法士(町職員) 若干名
- ・言語聴覚士(町職員) 若干名
- ・看護師・准看護師(嘱託職員) 若干名

2. 受験資格

- ・町職員は各職種の資格を有する(免許取得見込者
含む)、59歳(採用時)以下の方。
- ・嘱託職員は、各職種の資格を有する(免許取得見
込者含む)方。

3. 試験日及び試験場所

申込み後、受験票にてお知らせいたします。

4. 試験方法

面接による

5. 受験手続及び申込書提出期限

受験申込書は、平内中央病院で準備してありますの
で、必要事項を記入のうえ、提出ください(郵送可)。

・提出期限：随時

※受付時間は、午前8時15分から午後5時までで
す(土・日・祝日を除く)。

6. 採用期日及び勤務場所

- ・採用期日：随時
- ・勤務場所：平内中央病院

7. 給与等

- ・町職員は平内町職員の給与条例等による。
- ・嘱託職員は、月額165,300円以上、賞与年2回、
健康保険、厚生年金、雇用保険、労働災害保険
加入

問 平内中央病院 庶務係
TEL 7 5 5 - 2 1 3 1

農業委員会だより

農業委員選挙人名簿の登録申請

毎年1月1日現在で農業者の申請に基づき、農業委
員選挙人名簿が調製されます。

お手元に申請書が届きましたら、申請書に必要事項
をご記入の上、期日までに農業委員会へ提出してく
ださい。

なお、当町に住所を有する方で、当町以外に農地を
持ち、その農地で耕作の業務を営み登録要件を満た
している方は、農業委員会において申請手続きをし
てください。

■提出及び申請期限

平成26年1月10日(金)期日厳守

■登録要件

- ①平成26年1月1日現在、町内に住所を有している
20歳以上の方(平成6年4月1日以前生まれ)
- ②次のいずれかに該当する方
 - ・10アール(1反歩)以上の農地につき耕作の業務
を営む方
 - ・前者の同居の親族か配偶者で、年間おおむね60
日以上耕作に従事している方

問 平内町農業委員会事務局
TEL 7 5 5 - 2 1 1 7(内255)

暮らしの中の税

『私たちの生活と税金』

平成26年度申告相談について

平成26年度の住民税及び国保税は、平成25年1月1日から12月31日までの1年間に生じた所得に課税するため、平成26年2月4日(火)から2月20日(木)にかけて申告相談を実施いたします。

詳しい日程等は、『申告相談日程表』を毎戸配布いたしますので、ご参照のうえ是非申告相談してくださいませよう願いたします。

また、日程表の期間中に都合のつかない方は、予め役場税務課へお問い合わせのうえ、申告相談ください。

事業所得、農業所得等の申告相談の方は、総収入金額から必要経費を差し引いて所得金額を計算する収支計算方式になります。収入金額や必要経費にかかる請求書、領収書などの書類と日々の取引の記録等(帳簿)を整備してスムーズに収支計算ができるよう準備の上で申告相談においでくださるようお願いいたします。

問 役場 税務課 住民税係
Tel 7 5 5 - 2 1 1 5 (内線245・246)

個人住民税における 住宅借入金等特別税額控除について

所得税の住宅ローン控除を受けている方で、所得税において控除しきれなかった金額がある場合は、翌年度の個人住民税において住宅ローン控除が適用されます。

◆対象者

平成12年～18年まで及び平成21年～25年までに居住した方

◆控除を受けるためには

所得税の確定申告が必要です。期限(平成26年3月17日)までに必ず申告してください。

ただし、居住2年目以降の場合、給与所得のみの方で職場において年末調整をされているときは、確定申告が不要です。

問 役場 税務課 住民税係
Tel 7 5 5 - 2 1 1 5 (内線245・246)

青森税務署よりお知らせ

申告書作成会場を開設します

青森税務署では、庁舎内に「申告書作成会場」を開設し、パソコンを利用して所得税、個人事業者の消費税等及び贈与税の申告書作成をサポートします。

【申告書作成会場の開設日時】

平成26年2月3日(月)から3月17日(月)まで
(土、日、祝日を除く。)

午前9時から午後5時まで

※2月23日と3月2日に限り日曜日も開設します。

確定申告はe-Taxをご利用ください

確定申告書の作成・提出は、便利なイータックス(国税電子申告・納税システム)をご利用ください。

税務署に向くことなく、ご自宅のパソコンからインターネットを利用して申告等ができます。

※電子証明書が格納された住基カード等とICカードリーダーが必要で。

e-Taxをご利用いただくメリット

- ① 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」から電子申告することができます。
- ② 医療費の領収書や源泉徴収票等の内容を入力することにより、添付書類の提出を省略することができます(ご自身で5年間保管する必要があります)。
- ③ 還付金が3週間程度で戻ります。
- ④ 平成26年1月14日(火)から3月17日(月)の間中は、24時間申告が可能です。
(注1)1月14日(火)は8時30分から利用可能。
(注2)メンテナンス時間(毎週月曜日0時～8時30分)を除く。

※e-Taxの利用方法や電子証明書の取得方法など、詳しくはe-Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。

問 青森税務署
Tel 7 7 6 - 4 2 4 1

指定管理者の募集

平内町では、下記施設の管理運営について、指定管理者制度により運営しているところです。同施設を効果的・効率的に管理運営できる法人その他の団体を募集します(青森県内に事務所を有する法人その他の団体に限る)。

施設名称

○ほたて広場

- { 平内町特殊索道事業(リフト)
- { 夜越山オートキャンプ場
- { 夜越山ケビンハウス
- { 夜越山パークゴルフ場 (4施設一括)

指定期間

平成26年4月1日から
平成29年3月31日まで(3年間)

指定申請書受付

平成26年1月15日から平成26年1月17日まで

その他詳しい内容は、「ほたて広場指定管理者公募要領」、「平内町特殊索道事業(リフト)等指定管理者公募要領」を作成しておりますので、下記までご請求ください。

(平成26年1月6日から1月8日まで配布)

問 役場 水産商工観光課
Tel 7 5 5 - 2 1 1 8

2014 1 今月のお知らせ NEWS

青森県特定(産業別)最低賃金改定のお知らせ

**必ずチェック最低賃金！
使用者も、労働者も**

青森県特定(産業別)最低賃金が、平成25年12月21日から改定されました。

金額は次のとおりです。

- 鉄鋼業
時間額 787円
- 電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、
情報通信機械器具製造業
時間額 721円
- 各種商品小売業
時間額 714円
- 自動車小売業
時間額 753円

なお、青森県で働くすべての労働者及び使用者に適用される「青森県最低賃金」は、平成25年10月24日から、時間額665円に改正されています。

詳しくは青森労働局ホームページからご覧になります(<http://aomori-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)。

問 青森労働局
労働基準部賃金室
TEL 7 3 4 - 4 1 1 4

職業訓練を支援しています

公共職業安定所では、県、国の関係機関と連携しながら、求職者の再就職支援事業として職業訓練によるスキルアップを通じての早期再就職ができるように、職業能力開発事業を積極的に推進しております。

下記の日程で職業訓練制度説明会を開催しますので、積極的にご参加ください。

職業訓練制度説明会

- ◆場所 青森職業能力開発促進センター
(ハローワーク青森向かい)
- ◆内容 求職者が無料で受けられる職業訓練の説明会
- ◆申込 直接会場へお越しください

開催予定日	開催時間	内容
1月28日(火)	14:00~16:00	①制度説明 ②訓練内容説明
2月25日(火)		
3月25日(火)		

問 ハローワーク青森 訓練担当
TEL 7 7 6 - 1 5 6 1 (42#)

第35回町民剣道大会が開催されました

11月24日(日)、平内町体育協会主催の第35回町民剣道大会が平内町勤労青少年ホームを会場に開催されました。

開会式冒頭の挨拶では亀田武之進体育協会会長、船橋茂久町長、佐々木徳正町議会議長が選手を激励し、剣心会の今田壤選手(小湊小6年)が力強く選手宣誓しました。

まず、公開演武で今芳廣(剣道錬士六段)、蠣崎光(剣道五段)による日本剣道形が披露され、その後、小学校1年生から一般までの40余名の剣士が熱戦を繰り広げました。

試合の主な結果は次のとおりです。

【小学校2年生以下男子の部】

①大水彪之介(西武館)

【小学校3・4年生男子の部】

①千代谷怜音(西武館) ②塩越 空羅(剣心会)

③船橋 健心(剣心会)

【小学校3・4年生女子の部】

①工藤 望愛(剣心会) ②伊瀬谷実咲(剣心会)

【小学校5・6年生男子の部】

①一戸 祥平(西武館) ②小山内大輝(剣心会)

③伊瀬谷祐樹(西武館) ③千代谷航磨(西武館)

【小学校5・6年生女子の部】

①大水 志保(西武館)

【中学校男子の部】

①豊島 生己(西平内) ②大水 大志(西平内)

③高橋 恵翔(西平内) ③井筒 将大(剣心会)

【中学校女子の部】

①須藤 朝日(西平内) ②平野 未悠(小湊)

③一戸阿理沙(西平内)

【高校生男子の部】

①野田頭伸弥(松風塾) ②村田 雅登(青森北)

③北澤 匠(青森東)

【一般男子の部】

①七尾 浩平(小湊) ②井筒 健一(口広)

③成田 静哉(稲生) ③成田 淳樹(小湊)

【一般女子の部】

①本堂みのり(上中野) ②高橋 美花(外童子)

◆第21回東西対抗戦(小学生対象)

優勝 西軍(西武館)

準優勝 東軍(剣心会)

【最優秀選手賞】 須藤 翔希(西軍)

【優秀選手賞】 船橋 健心(東軍)

【敢闘賞】 西軍 大水彪之介、伊瀬谷祐樹

東軍 工藤 聡道、今田 壤



人権イメージキャラが 来庁者へ啓発活動

世界人権宣言が採択された日にちなんで、12月10日が「人権デー」と定められており、日本では、昭和24年から、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として広く皆さんに人権尊重の大切さを呼びかけております。

初日の4日(水)には人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」が町役場へ駆けつけ、庁舎内において平内町人権擁護委員とともに人権尊重思想の普及高揚を図るため、来庁者へ啓発物品を配布しながら呼びかけておりました。



「国の教育ローン」のご案内 (日本政策金融公庫 国民生活事業)

高校、大学への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき300万円以内を、固定金利(年2.35%(平成25年11月11日現在)(母子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方の利率は年1.95%(平成25年11月11日現在))で利用でき、在学期間中は利息のみのご返済とすることができます。

詳細はお問い合わせください。

問 教育ローンコールセンター
TEL 0570-008656(ナビダイヤル)
TEL 03-5321-8656

あなたの声で 「国民の森林」を育てませんか?

東北森林管理局では、国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

- ◆募集人員：48名程度
- ◆募集期間：平成26年1月31日(金)まで
(当日消印有効)
- ◆任 期：2年間(平成26年4月～平成28年3月)
- ◆内 容：アンケートへの回答
現地見学会・国有林モニター会議への出席など

応募資格、応募方法など、詳しくは局HPをご覧ください。か、お問い合わせください。

東北森林管理局(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>)

問 東北森林管理局
企画調整課 林政推進係
TEL 018-836-2228

交通事故でお困りのときは、 交通事故相談窓口をご利用ください

青森県交通事故相談所

相談時間：8:30～17:15(土日祝・年末年始を除く)
まずはお電話を TEL 734-9235
青森市長島1-1-1 青森県庁北棟1階

あなたも参加 わたしもやります “安全運転”

平成25年		青森県交通対策協議会	
	11月中	11月末累計	
発生	403件 (-55)	4474件 (-216)	高齢者の死者 ～65歳以上の人～ 30人 (+6)
			歩行者の死者 14人 (-10)
死者	7人 (+1)	42人 (-10)	飲酒運転による死者 4人 (+2)
			自動車乗車中の死者 20人 (+3)
傷者	498人 (-95)	5523人 (-287)	シートベルト 非着用死者 7人 (+3)

※()内は対前年比です。また、速報値のため後日変更することがあります。

11月受付分

戸籍の窓口

人口と世帯

男… 5,886人(-9人)
女… 6,380人(-14人)
計… 12,266人(-23人)
世帯数…5,159世帯(-9)
平成25年11月末現在
()は、前月との比較

ご結婚おめでとう

本籍地
(千代谷 仁 司 山口
葛西 薫 青森市

(逢坂龍徳 山口
辻村歩 第2平中

お誕生おめでとう

赤ちゃん名 (親) 住所地
渡辺 瑛 奈(翔多) 新生町
渡辺 真 翔(翔多) 新生町
飯田 そら(保志) 間木
横川 奈々花(俊之) 狩場沢
森 柚 音(真也) 第1平中
渡辺 美 月(悟) 第2平中

お悔やみ申し上げます

喪主 住所地
山本 千 亓(88) 広光中東田沢
豊島 ヨシエ(97) 潔 稲 生
村田 山 夫(81) 経 夫 第1元町
江戸 信 一(66) 幸 一 清水川
佐々木 光 盛(84) 節 折 戸
中河内 ミ 亓(87) 信 雄 川原町
豊島 ミ ワ(78) 洋 一 稲 生
後藤 ムツエ(90) 由 春 浦 田
田村 徳 明(87) 徳 文 中 野
山下 綾 子(84) 山本重 第1口広
長尾 ミツヨ(86) ユ ミ 寺 町
工藤 節 子(57) 茂 浜 子
小 館 キ 亓(83) 俊 一 第1平中
今 ミツエ(85) 正 二 小豆沢

寒い冬に温かい座布団の寄贈 ひらない中央児童館母親クラブ

ひらない中央児童館母親クラブ(数度恵子会長)では、やませの吹く寒い冬に小湊駅の利用者が冷たいイスで寒い思いをしないようにと、待合室に手作りのイス用座布団を寄贈利用してもらう活動を平成12年から10年以上にもわたり続けています。

毎年10月中旬頃に座布団を取り付け、翌年の5月末に回収し、洗濯や修繕、古くなったものは新しく作り直したりするなどし、町民の皆さんからも温かいと喜ばれておりましたが、今年から新たに西平内、清水川、狩場沢駅にも座布団を寄贈しました。



毎朝、駅を利用し市内の高校に通学する生徒は、「座布団のおかげで座って朝の予習ができる。ありがとうございます」と感謝の言葉を聞かせてくれました。

母親クラブの皆さんの心のこもった座布団が、通勤や通学に駅を利用する方々の体だけでなく、心も温めてくれています。

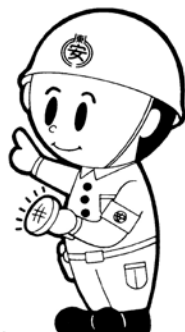
母親クラブってなに？

母親クラブとは、「まちの子はみんなわが子」を合言葉に、子どもたちの健全育成を願って、地域ぐるみでボランティア活動する組織で、親子や世代間の交流・文化活動、児童事故防止のための活動などを通してお互いの親睦をはかりながら、子育てや家庭、地域での生活の問題など、子ども達を取り巻く様々な問題について考え、話し合い、解決を図っていきます。

また、メンバーも小さな子どもを持つお母さんばかりではありません。地域の児童健全育成に関心のある方ならば年齢・性別を問わず入会できますので、お父さん、お兄さん、お姉さんなど、幅広くたくさんの方が活動しています。興味ある方は、ぜひお問い合わせください。

問 ひらない中央児童館
TEL 7 5 5 - 2 3 5 4

電気保安協会からのお願い



平内いきいき健康館 よごしやま温泉 1月の臨時休館日は22日(水)
～毎月1日・16日は9時から入浴できます～

文 芸

頃合いのよろしきおでん縄のれん	極月や寡黙な人のよく動く	鍋の日は会話も少し多くなり	老猫の病癒えたり漱石忌	木造の保育所ゆらしおもちつき	小春日や競うがごとく帆立船	北風に肩をすぼめて急ぎ足	初氷柱ボジョレーヌーボー掴みおり	生前と言うは今なり年の内
高松遊絲	亀田悦	藤田友子	八桁しづゑ	岡本みどり	須藤千和子	浜田きみ	佐々木定男	船橋久枝

平内花椿会

枯れし葉の散り重なりて積まれおり	束の間の母の安らぎ年の暮れ	年の暮れ嫁妻母の勢揃い	たわむれて押す亡夫の背や年の暮れ	雑布のしぼり切れない年の暮れ	少し死の見えかくれして去年今年
佐藤むつ子	渡辺春代	佐々木初江	佐々木うめ	蝦名きみゑ	能登谷瑩子

平内俳句会

要件は一分で済む長電話	血止草ペタリと母のおまじない	何事も軽くなして陰がない	りんご風呂幼児はしゃいで声高く	人生は誤算だらけとする苦笑	消費税決めるあなたは富める人	通学の孫の元氣にもらう活	お互いに物忘れして笑い合い	本気度を占っている昨日今日	長男が町に新居を建てるとか
荒田つる	沼山久乃	須藤梨世	千代谷節子	つじむらりゅうこ	神久女	後藤日出雄	海音寺東山坊	後藤ただし	荒谷想伸

川柳ひらない

憧れの選手に感激！ 細川亨選手野球教室



12月15日(日)、町立体育館において、プロ野球ソフトバンクホークス捕手の細川亨選手(東滝出身)を招いて野球教室が開催されました。

当日は吹雪となり、体育館内の気温も手がかじかむほど低い中、憧れのプロ野球選手から指導が受けられるとあって、町内外から小・中学生約150名が参加しました。

野球教室では、細川選手とチームメイトの金子圭輔内野手と三浦翔太投手も指導にあたっていただき、ランニングと準備体操の後、キャッチボールやトスバッティングなどの基本的な練習を行いました。細川選手からは「元気が一番大事。元気を出せば体が動く」などのアドバイスがあり、集まった小・中学生は現役プロ野球選手の言葉を漏らさず吸収しようと真剣な眼差しで指導を仰いでいました。

今回の野球教室では、選手との距離がぐっと縮まり、合間合間に選手への質問コーナーができるなど、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく指導していただき、参加者にも笑

顔があふれた野球教室となりました。

今回指導していただいた細川選手をはじめ3選手の皆さん、本当にありがとうございました。



『わたしの好きなひらな』



写真をお待ちしております

住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、Eメールで送信するか、郵送または役場総務課へ直接持参ください。

◇投稿者

阿部 柊人さん (第2口広)

◇撮影場所

青い森鉄道 清水川駅

◇投稿者より◇

毎朝、電車で青森市内の高校へ通学していますが、日の出がちょうど電車の時間に重なる季節になりました(なっていました)。

年明けに受験を控え、期待より不安のほうが大きくなっていましたが、朝日が励ましてくれているような気がして『今日も一日頑張ろう』という気持ちになりました。

この景色を眺めることができる日もあと少しですが、一日一日を大事に過ごしたいと思います。

問 役場 総務課 企画政策係

TEL 7 5 5 - 2 1 1 1 (内線230)

メール kikakuseisaku@town.hiranai.aomori.jp